

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-117	小学校	図画工作	図画工作	第5・6学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
116 日文	図工 507 図工 508	図画工作5・6上 わたしとひびき合う 図画工作5・6下 わたしとひびき合う		

1. 編修の基本方針



創造力が 未来をつくる

本教科書が目指すものは、作品をつくることの先にあります。つくることや見ること、感じたことを伝え合うことを通して、多様な考えを尊重し、創造する力を育みたいと考えています。

変化の激しい時代に、未来をつくり出す創造力を身につけられるよう、次の方針を掲げ編修しました。

1 好奇心から始まる深い学び

児童の表情や試行錯誤する情景写真は、実際の授業風景から切り取りました。

2 対話を通して豊かな感性を育む

多様な考え方を尊重しながら、協働的に学ぶことができるような教科書構成にしました。

3 創造力を、生活・社会・未来へつなげる

SDGs や共生社会などの今日的な課題を取り上げました。

1 好奇心から始まる深い学び

深い学びへの第一歩は、好奇心。児童の意欲を引き出す図版と投げかけが、主体的・対話的で深い学びへ導きます。

● 「やってみたい」を引き出す写真 ～情景写真へのこだわり～



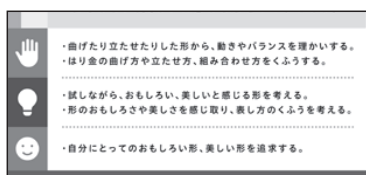
5・6上 p.26-27

好奇心を引き出すために、写真は実際の授業を取材して撮影しました。全身で材料を味わう姿、真剣に試行錯誤する姿、友人と協働する姿……授業で見られるこうした一瞬が、主体的・対話的な学びの姿だと私たちは考えます。本物は心を動かします。写真を見た児童が「やってみたい、自分ならこうしたい」と感じられることを目指しました。また、取材を踏まえて題材研究を進め、学びを深める手立ての検討を重ねました。紙面には、めあて、振り返り、二つのヒントを設定しています。

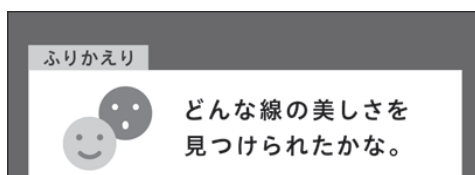
※新型コロナウイルス感染症の流行時期においては、感染対策を徹底し、児童の安全に十分に配慮し撮影しました。

● 四つの投げかけで、深い学びへ ～手立てへのこだわり～

学習の見通しをもち、活動を振り返ることができるようにしました

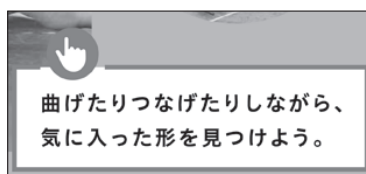


学習のめあて

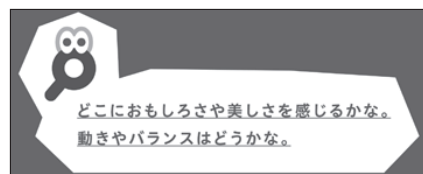


振り返り

表現と鑑賞を関連させて学ぶことができるようにしました



表現のヒント



鑑賞のヒント

2 対話を通して豊かな感性を育む

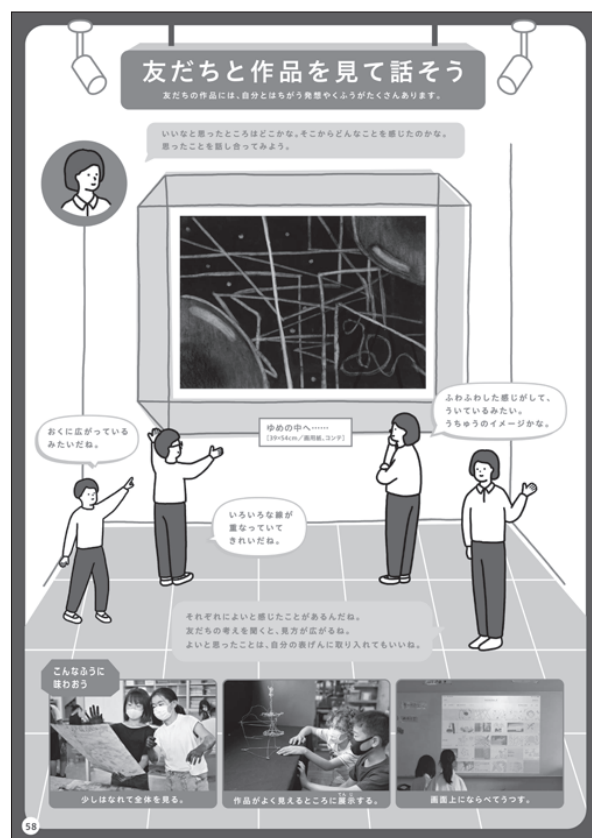
鑑賞の視点や方法を示し、協働的な学びを促す教科書構成にすることで、豊かな感性を育むとともに、多様な考え方を尊重する態度を養うことができるようにしました。

● 協働的な学びを促す、様々な鑑賞の方法を例示しました



5・6下 p.24-25 「この筆あと、どんな空？」

活動中の対話を呼びかけたり、アート・カードなどの様々な鑑賞方法を紹介したりしています。また、多様な感じ方や作者の思いを尊重することの大切さも伝えていきます。



5・6上 p.58



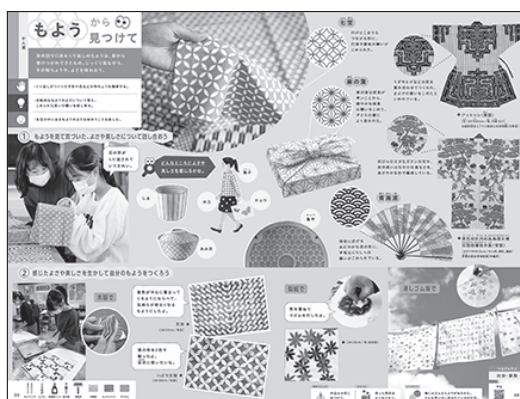
5・6下 p.68

● 鑑賞と表現をつなぎ、学びの深まりを目指しました



5・6下 p.38, 41

伝統的な美術・工芸の鑑賞→自分の文様づくりへ



5・6下 p.39-40

3

創造力を、生活・社会・未来へつなげる

図画工作の学習を、生活や社会、現代的課題、SDGsなどと結び付けることで、持続可能な社会を創造することへ目を向けられるよう工夫しました。



国際理解へつなげる



5・6上 p.24-25 「あの時あの場所 わたしの思い」

SDGs へつなげる



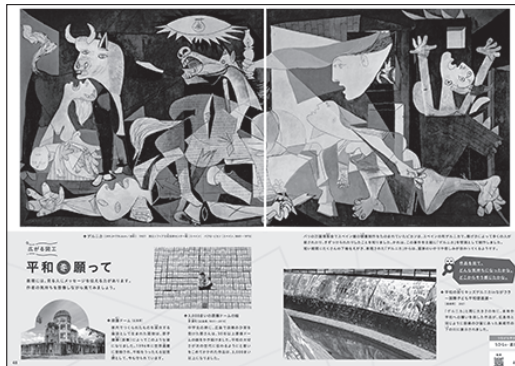
5・6上 p.36-37

保護者の方へのメッセージ



5・6上 p.2

平和へつなげる



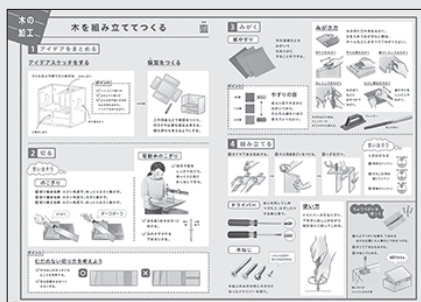
5・6下 p.48-49

多様な人々と共生する社会のために

教科書のユニバーサルデザイン

- ・全ての文字にユニバーサルデザインフォントを使用しています(題材名など一部を除く)。
- ・カラーユニバーサルデザインに配慮しています。
- ・全てのページについて、専門家の校閲を受けています。

読み取りやすい資料ページ



5・6下 p.62-63

ユニバーサルデザインに関する事例の紹介



5・6下 p.30-31 「生活を豊かにする形」

2. 対照表

内容・構成	特に意を用いた点や特色	箇所
オリエンテーション	一人一人の価値観を尊重しながら、能力を伸ばし創造性を培うことができるよう、学習の進め方、児童へのメッセージ、導入題材を掲載しています。(第2号)	上 p.2-7 下 p.2-7
題材ページ	表現や鑑賞の全活動において、美しいものや優れたものに触れ、豊かな情操と道徳心を養うことのできる題材を掲載しています。また、体全体を使った活動を多く取り入れ、健やかな身体を養う題材を掲載しています。(第1号)	全般
	創造性を培うことができるよう多様な表現の作品例を掲載し、職業や生活との関連を示すため、作家作品や工芸品、家庭での活動の様子を掲載しました。(第2号)	全般
	協働を促す題材や、互いの作品や活動について違いやよさを話し合い認め合う様子を多く掲載しています。(第3号)	全般
	身の回りの材料や自然に親しむ造形活動を掲載し、材料の再利用を促すことで、自然を大切にし環境の保全に寄与する態度を養えるよう工夫しています。(第4号)	全般
	我が国や諸外国の美術作品、外国の同年代の児童の作品を掲載し、伝統や文化、他国を尊重する態度を養うことができるように工夫しています。(第5号)	全般
教科書美術館 図工のみかた	幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操を培うことができるよう、伝統文化や他国の作品など多様な造形を取り扱うページを設けています。(第1号、第5号)	上 p.22-23,46-47 下 p.20-21,38,41
友だちと作品を見て話そう アート・カードを楽しもう	対話しながら鑑賞するページを設定し、自他の敬愛と協力を重んじる態度を養うことができるようにしました。(第3号)	上 p.58,68 下 p.68
材料と用具のひきだし	材料と用具についての幅広い知識を、児童が自主及び自律の精神で参照し学習できるようにしました。(第1号、第2号)	上 p.59-67 下 p.57-65
広がる図工	公共の場でメッセージを伝える作品や平和への願いを込めた作品、地域の美術館など、様々な事例を掲載しました。(第3号、第5号)	上 p.36-37,56-57 下 p.30-31,48-49

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

● ICT を活用した学習への配慮

端末の活用方法を例示

情報モラルにも触れています。



5・6上 p.65



5・6下 p.65

題材にはマークで示しました。



豊富なデジタルコンテンツ



5・6上 p.12-13

二次元コードから様々なコンテンツを利用できます。

- ・用具の使い方動画
- ・作品ギャラリー
- ・360度鑑賞作品
- ・作家インタビュー
- ・アプリなど

プログラミングを使った活動の例示



5・6上 p.54

編修趣意書

(学習指導要領との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-117	小学校	図画工作	図画工作	第5・6学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
116 日文	図工 507	図画工作5・6上 わたしとひびき合う		
	図工 508	図画工作5・6下 わたしとひびき合う		

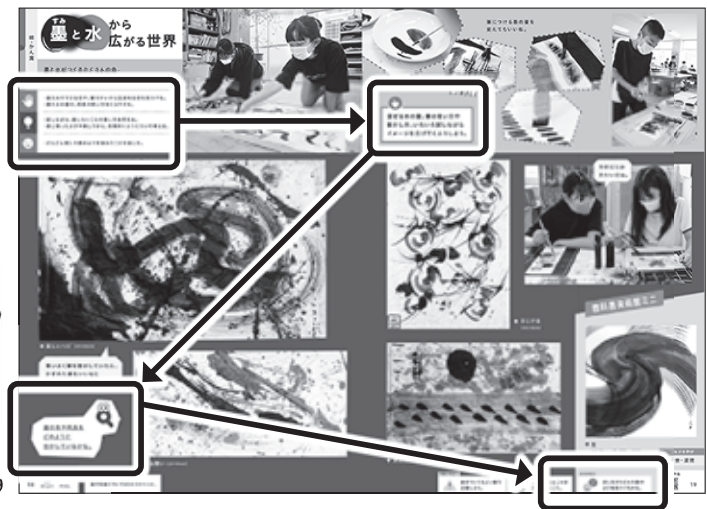
1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 学習の進め方が分かりやすい教科書

● 主体的・対話的で深い学びへ導く投げかけ

活動の場面ごとに、学習をサポートする四つの投げかけを示しました。活動の見通しと振り返り、表現と鑑賞を関連させる問いによって、主体的・対話的で深い学びへ導きます。

ヒントを二つ設定し、表現と鑑賞を関連させながら、造形的な見方・考え方を働かせる深い学びへ導きます。



5・6下 p.18-19

- …知識及び技能
- …思考力、判断力、表現力等
- …学びに向かう力、人間性等

学習のめあて

資質・能力の三つの柱に対応しためあてで、「その題材で何を学ぶのか」がわかります。

- 混ぜる水の量、筆の使い方や動かし方。いろいろ試しながらイメージを広げてくふうしよう。

表現のヒント

発想を広げる方法など、特に大切なめあてと関連させて、具体的な手立てを示しました。

- 墨の色や用具をどのように生かしているかな。

鑑賞のヒント

掲載作品のどこに着目するとよいかを示しました。学級で作品を鑑賞し合う時に投げかけ、対話的な学びを促すこともできます。

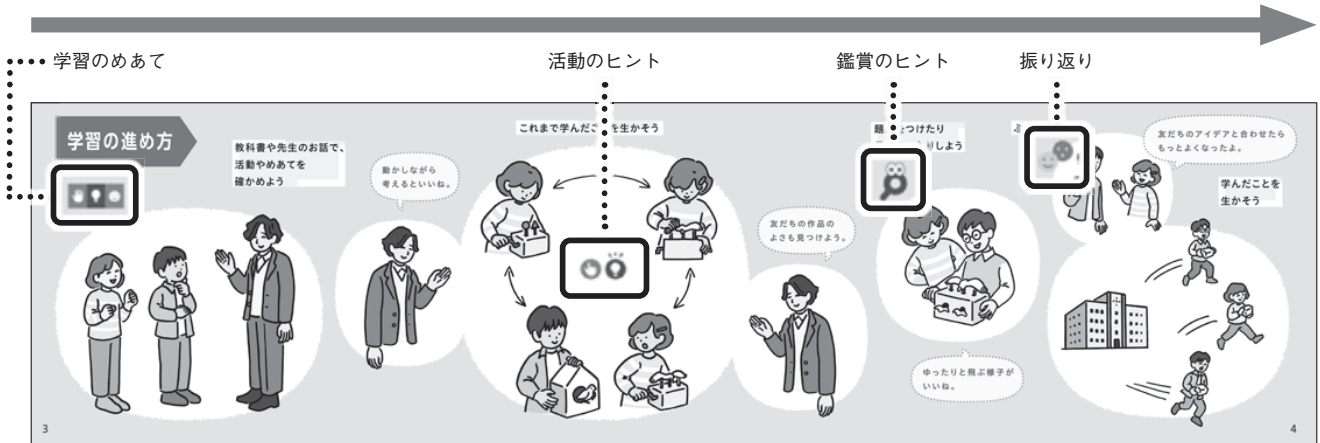
- 試しながらどんな墨のよさを見つけたかな。

振り返り

活動を終えて、どのような気づきや学びがあったのか、学習を振り返るための投げかけを示しました。

● 学習の進め方を伝えるオリエンテーション

児童も活動の流れをイメージできるよう、巻頭にオリエンテーションを設定しました。



5・6下 p.2-4 教科書の使い方

● 用具の安全な扱い方を学べる巻末資料

巻末に8ページの「材料と用具のひきだし」を設け、用具の基本的な扱い方やポイントを学ぶことができます。

用具の使い方を動画で確認

用具

二次元コードから、用具の扱い方に関する動画を見ることができます。

木の加工

電動糸のこぎりで切る

板などを切るための用具。曲線や円など、自由に形を切ることができる。

はの取り付け方

① はを下留しめ具で固定する。 | ② はを上留しめ具で固定する。

ポイント

- はをテーブルのあなに当てて下留しめ具に差しこみ、しっかりとめる。
- はを付けかえている時や、使い終わった後は、必ず電気をプラグを抜く。

しせいと切り方

ポイント

- はの正面に立つ。
- 切るところを見る。
- 両手で板をしっかりとおさえる。
- 板をゆっくり前におし出して切る。
- はの進む方向にしっかりと手を置かない。

いろいろな切り方

- 曲線を切る: 両手で板をなめらかに動かしながら切る。
- 直線の組み合わせを切る: 角まで切り進めたら、はの位置を変えず、次に切りたい向きになるまで板をゆっくり回す。
- 形をくりぬく: 1. 切り始める位置に、きりであなをあげる。 2. 上部の具をいったんはずし、はを板のあなに通す。 3. 上部の具をはを固定し、板をゆっくり回しながら切る。

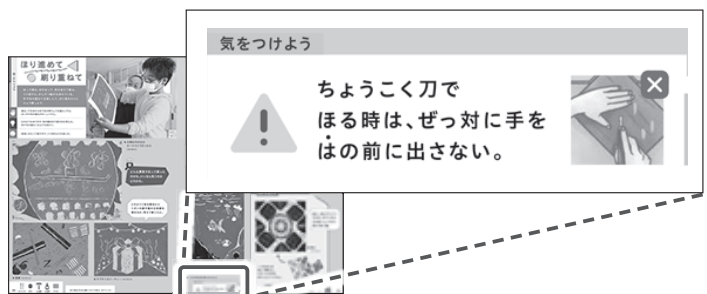
ポイント

- うまく切り進めない際に、はが戻れた時は、はを戻す。
- はが戻れた時は、はを戻す。
- はが戻れた時は、はを戻す。
- はが戻れた時は、はを戻す。
- はが戻れた時は、はを戻す。

5・6上 p.62-63

安全指導は○×で分かりやすく

題材ページにも安全指導を掲載



5・6上 p.48-49

2 成長に寄り添う教科書

発達の段階を踏まえて構成した題材に加えて、特設ページを設けています。幼児期との接続ページから中学校との接続ページまで、児童の学びが未来へつながるように構成を工夫しました。

オリエンテーションページ



5・6上 p.5-7

各巻のはじめには、図画工作を学ぶ児童へのメッセージと導入活動を掲載しています。

5・6下 p.5-7



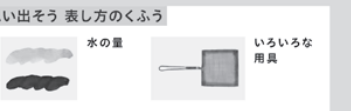
既習事項の振り返り



4年生での安全指導に関わる既習事項を、6年生「思い出そう」のコーナーに再掲載しました。



5・6上 p.8



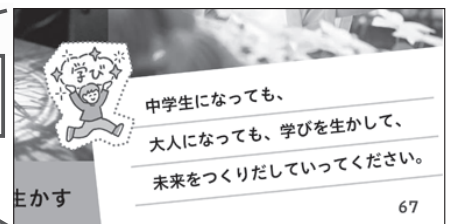
5・6下 p.62「木の加工」

振り返りページ・中学校との接続ページ



5・6下 p.66-67

題材ごとの振り返りに加えて、6年間の振り返りのページを設け、何を学んできたのが児童が考えることができるようにしました。



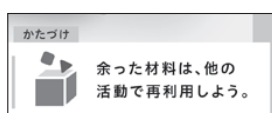
生かす

67



本教科書の特色表	
教育基本法の遵守	・教育基本法第2条に示されている教育の目標を達成し、教育基本法の考えが教科書全体に行き渡るように、題材の設定や文章表現、作品や写真の選択などについて十分に配慮しています。
学習指導要領の遵守	・表現と鑑賞が一体的に学習できるように配慮しています。 ・学習指導要領の目標に基づき、「学習のめあて」を示しています。 ・〔共通事項〕について、教科書全体で取り扱うとともに、活動と〔共通事項〕を結び付けられるよう「活動のヒント」「鑑賞のヒント」の内容を配慮しています。
配列・分量	・題材は、学習指導要領を基に「造形遊びをする」「絵に表す」「立体に表す」「工作に表す」「鑑賞する」の五つの分野に分け、活動の内容を把握しやすいように示しています。 ・地域や学校の実態に合わせて、題材を選択したり組み合わせたりできるよう工夫しています。 ・題材での学びを次の活動へ生かせるよう、題材に系統性をもたせています。
発達の段階への配慮	・それぞれの分野の中で、児童の発達に十分配慮した材料や用具を取り扱っています。 ・既習事項を振り返るために「思い出そう」コーナーや用具の使い方を動画を設定しました。
主体的・対話的で深い学びの実現	・オリエンテーションにおいて、教科書の使い方や学習の進め方を示し、児童が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫しています。 ・児童が自分の活動を振り返り深めることができるよう、全ての題材に「振り返り」を設定し、下巻には1年の振り返りページを設けています。 ・鑑賞の方法や対話しながら活動する様子を示し、対話的な学びを促す工夫をしています。 ・表現と鑑賞を関連させて学びを深められるよう「表現のヒント」「鑑賞のヒント」を示しました。
社会に開かれた教育課程・カリキュラムマネジメントの実現	・保護者の方へのメッセージを設け、育む資質・能力について共有できるよう工夫しています。 ・家庭で学びを生かす様子や地域での活動事例を掲載し、学習と社会のつながりを示しました。 ・他教科などに関わりのある題材について、「つながる学び」マークを付けて示しています。
道徳との関連	・道徳に関わりのある題材について、「つながる学び」マークで示しています。 ・様々な美術作品や外国の児童の作品などを掲載し、多様な考え方を尊重する態度を育てるよう配慮しています。
言語活動の充実	・発想や構想、鑑賞など様々な場面で児童がコミュニケーションを取りながら造形活動を行う様子を紹介しています。 ・作品コメントや、ワークシートを紹介し、形や色・言葉で思いを伝え合う活動を促しています。
伝統文化・多様性の尊重と国際理解	・我が国や諸外国の美術作品、外国の児童の作品を掲載し、伝統や文化、他国を尊重する態度を養うことができるように工夫しています。
社会の持続可能な発展	・題材ページ内の「かたづけ」において、材料の有効利用について触れています。 ・自然材の利用や材料の再利用を促し、環境問題への関心を高める工夫をしています。
家庭や地域・社会への関心	・題材ページで、作品を飾ったり家庭で学びを生かしたりしている場面を掲載しています。
人権への配慮	・様々な鑑賞方法や、アート・カードを使った協働的な鑑賞を紹介し、多様な感じ方や作者の思いを尊重することの大切さを伝え、人との触れ合いや共生への意識を高める工夫をしています。 ・平和や人権にかかわる作家作品などを取り上げています。 ・著作権や情報モラルについて取り上げています。
特別支援教育への配慮	・全ての児童が等しく学べるよう、カラーユニバーサルデザインに配慮して編修しています。 ・全てのページについて、専門家の校閲を受けています。 ・全ての文字にユニバーサルデザインフォントを使用しています（題材名など一部を除く）。
判型・印刷・製本	・A4判で図版を大きく見やすく掲載し、児童の興味・関心を引き出す工夫をしています。 ・重さへの負担を軽減し、軽量化した再生紙の中で最適の良質コート紙を使用しています。 ・表紙は美しい光沢と耐水性のあるコーティングを施し、丈夫で水濡れにも耐久性があります。 ・人体への影響が少ない植物性インキを用いて印刷しています。
掲載作品の選定	・児童が活動のヒントとして参考にできるよう、発想の内容や工夫の方法、材料、サイズが幅広いものになるよう考慮して作品を選定しています。 ・地域や時代、性別に偏りがないよう配慮し、伝統工芸や外国の児童作品も取り上げています。
ICTの活用	・ICTの活用方法について、タブレットのマークで示し、わかりやすく例示しました。 ・特設ページを設け、著作権などの情報モラルやタブレット端末の活用について示しています。 ・学びを深めるデジタルコンテンツを制作し、該当題材には二次元コードを示しています。 ・用具の基本的な扱い方について、二次元コードから動画で確認できるようにしました。 ・別途デジタル教材を提供する体制を整え、学習効果をより高められるよう配慮しています。
STEAM教育・プログラミング教育との関連	・プログラミングを取り入れた活動を掲載しました。また、対称性を生かしてもようをつくる題材やクランクの仕組みを生かした題材を掲載し、STEAM教育との関連に配慮しました。

● 題材ページにおけるそのほかの特色



5・6下p.23

かたづけマークで、材料や用具の片付けについて示しています。



5・6下p.51

つながる学びマークで、他教科などとの関わりを示しています。



5・6上p.45

タブレットのマークで、ICTの活用方法を例示しています。

2. 対照表

5・6上

図書の構成・内容	学習指導要領の内容							該当箇所
	A 表現(1)		A 表現(2)		B 鑑賞(1)	[共通事項]		
	ア	イ	ア	イ	ア	ア	イ	
感じたことを伝え合う					○	○	○	5-6
わたしとひびき合う					○	○	○	7
心のもよう		○		○	○	○	○	8-11
形に命をふきこんで		○		○	○	○	○	12-13
あんなところがこんなところに	○		○		○	○	○	14-15
消してかく		○		○	○	○	○	16-17
糸のこすイスイ		○		○	○	○	○	18-19
切り分けた形から何つくる？		○		○	○	○	○	20-21
身近なものを見つめて					○	○	○	22-23
あの時あの場所 わたしの思い		○		○	○	○	○	24-25
美しく立つはり金		○		○	○	○	○	26-27
ふれて伝えるストーリー		○		○	○	○	○	28-29
水から発見 ここきれい！					○	○	○	30-31
言葉から思いを広げて		○		○	○	○	○	32-33
のぞいてみると		○		○	○	○	○	34-35
どんなことをどんな方法で					○	○	○	36-37
笑顔が生まれるしかけ		○		○	○	○	○	38-39
まだ見ぬ世界		○		○	○	○	○	40-41
光と場所のハーモニー	○		○		○	○	○	42-43
ミラクル！ ミラーワールド		○		○	○	○	○	44-45
どう見る？ どう見える？					○	○	○	46-47
ほり進めて刷り重ねて		○		○	○	○	○	48-49
けずって見つけたいいい形		○		○	○	○	○	50-51
紙から生まれるすてきな明かり		○		○	○	○	○	52-53
ICTでチャレンジ		○		○		○	○	54-55
美術館へ行こう					○	○	○	56-57
友だちと作品を見て話そう					○	○	○	58
材料と用具のひきだし			○	○		○	○	59-67
アート・カードを楽しもう					○	○	○	68

5・6下

図書の構成・内容	学習指導要領の内容							該当箇所
	A 表現(1)		A 表現(2)		B 鑑賞(1)	[共通事項]		
	ア	イ	ア	イ	ア	ア	イ	
わたしとひびき合う					○	○	○	5
絵の具スケッチ		○		○		○	○	6-7
ここから見ると		○		○	○	○	○	8-9
音の絵		○		○	○	○	○	10-13
糸から生まれるわたしの空間	○		○		○	○	○	14-15
固まった形から		○		○	○	○	○	16-17
墨と水から広がる世界		○		○	○	○	○	18-19
なんでこの形？					○	○	○	20-21
くるくるクランク		○		○	○	○	○	22-23
この筆あと、どんな空？					○	○	○	24-25
わたしの大切な風景		○		○	○	○	○	26-27
使って楽しい焼き物		○		○	○	○	○	28-29
生活を豊かにする形					○	○	○	30-31
1まいの板から		○		○	○	○	○	32-33
言葉から想像を広げて		○		○	○	○	○	34-35
水の流れ 水の形		○		○	○	○	○	36-37
受けつがれてきた形					○	○	○	38,41
もようから見つけて					○	○	○	39-40
自然を感じるすてきな場所で	○		○		○	○	○	42-45
版で広がるわたしの思い		○		○	○	○	○	46-47
平和を願って					○	○	○	48-49
あったらいいなプロジェクト		○		○	○	○	○	50-51
感じて 考えて		○		○	○	○	○	52-53
未来のわたし		○		○	○	○	○	54-55
形の組み合わせで何できる？		○		○		○	○	56
材料と用具のひきだし			○	○		○	○	57-65
ふりかえり					○	○	○	66
中学校との接続ページ					○	○	○	67
アート・カードを楽しもう					○	○	○	68